

一応供覧	文書分類	保存年限	1 3 5 10 永	
議長	局長	書記	主任	担当

1号様式

令和8年2月9日

津南町議会議長 風巻 光明 様

議席番号 3 番

議会議員 村山 郁夫



一般質問の通告について

令和8年2月26日開会の第1回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1 農業の構造的脆弱性	<p>持続可能な津南町の産業構造について問う。</p> <p>① 従事者の高齢化と減少により、現状の維持すら困難な「構造的脆弱性」に直面している。従来の「生産して出荷する」モデルから、高収益な「売れる農業」への転換が急務である。町として、スマート農業の実装支援や、ブランド農産物の海外輸出、または加工までを一貫して行う「6次産業化」の拠点整備について、具体的な戦略はあるか伺う。</p> <p>② 農業所得の向上なくして後継者は現れない。意欲ある若手農家への「経営感覚」の育成支援、例えば外国人労働者の雇用方法や経理など企業経営を支える学習支援の現状はどうか伺う。</p>	町長



※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。

2,号様式

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
<p>2 商工・雇用・観光分野の停滞打破と「外貨」を稼ぐ仕組みづくり</p>	<p>① 商工分野の停滞は、町内消費の減退と表裏一体であるので既存の商圈を守るだけでなく、町の外から資金を呼び込む施策が必要であるため、地元企業の事業承継支援に加え、テレワーク移住者や IT 関連のスタートアップを誘致するための「サテライトオフィス」等のインフラ整備は大切と考えるが、今までの実績はどうか伺う。</p> <p>② 欧米をはじめ海外の富裕層の関心はその土地の物語（ストーリー）」と「そこでしかできない体験」にある。河岸段丘の絶景を眺めながら、津南の「名水・地酒・ジビエ」を堪能するガストロノミーツーリズム（その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズム）の展開など、高単価なインバウンド向けのコンテンツ開発を加速させるべきではないか。そのきっかけとなるインバウンドは大地の芸術祭等で今絶好の機会に恵まれている。近隣自治体のリゾート地域と連動することで産業経済・就業機会・人口増に繋がることにより、自治体としての持続</p>	町長

	<p>可能性が高まり、消滅自治体の予測を覆す要素であると考えるが、インバウンドによる町の振興策をどのように構想しているか伺う。</p> <p>③ SNS や海外インフルエンサーを活用し、世界的な「サステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）」の文脈で津南の価値を発信し、直接予約に繋げるデジタル戦略が必要と考えるが、町の見解を伺う。</p>	
<p>3 コンパクトな経済圏域</p>	<p>人口減少による市場縮小は避けられないが、それを前提とした「コンパクトで強い経済圏」の構築が求められる。そこで、人口減少を単なる衰退と捉えず、一人当たりの生産性を高める「スマート自治体・スマート産業」への投資を加速させるべきと考えるが、そのために近隣市町村（十日町市等）との広域連携を深め、事務の効率化や産業プラットフォームの共有化を図ることで、単独自治体としての「維持コスト」を下げ、その余力を産業振興に充てるべきではないか。</p> <p>具体的に、つぎの事項が挙げられるがこれらについて見解を伺う。</p> <p>① 共同でクラウド型の基幹業務システムの運用</p> <p>② オンラインによる各種行政手続きの</p>	<p>町長</p>

	<p>共通化</p> <p>③ 公共施設の老朽化による更新の際に 共同設置・管理を行い固定資産の維持 費の圧縮</p> <p>④ 高額なスマート農業機器の広域的シ ェアリングシステム</p>	
--	---	--

※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。